

## 平成23年度事業計画

### A 一般会計

#### <基本方針>

次のことを重点に取組みを進める。

- ・釧路根室圏における総合的な産業支援施策を展開し、地場産業の高度化と新産業の創出を図る。
- ・地域の基幹産業である「1次産業」が抱える課題や、「自然エネルギー」、「食品系廃棄物」など地域の未利用資源の利活用を目的とした技術開発や事業化に向けた取組みを進める。
- ・新規導入機器の周知に努め、地域企業による利用の高度化を推進する。

#### <事業内容>

### 1. 産業技術に関する相談・支援、試験設備・検査計測機器の利用促進

#### (1) 試験設備・機器利用の促進

- ・機器利用促進のため、地域企業のニーズに合った活用方法に関する情報収集を行い、リバースエンジニアリング、研究開発における試作検証作業の効率化、精密加工、分析等、より高度な利用を啓発すると共に、地域企業が利用しやすい環境の整備を図る。また新規導入機器については、道総研工業試験場等関連機関との効果的な活用方法の連携網を構築し、先進事例の紹介や個別に対応した実践的な技術講習を行い、利用を促進する。

#### (2) 技術相談・支援

- ・地域企業の新製品・新技術の開発や技術的な課題に対し、各種の支援を行う。各専門分野に関する相談については、関連する研究支援機関との連携を取り、迅速かつ高度な対応に努める。
- ・釧路、根室管内の市町村自治体や団体組織、金融等関連機関との連携により、企業訪問を行うなど地域の相談案件の掘り起こしを行う。

#### (3) 依頼分析・検査・計測の受託

- ・企業からの依頼に基づき、分析・検査・計測を行う。検査計測機器の検定や、他機関との情報交換に努め、試験結果の厳正化を図る。

#### (4) 産業支援コーディネーターの設置

- ・地域企業の新技術、新商品の開発等の取組みに対して、マーケティング、企業経営等の分野からの事業化へ向けた支援を強化するため産業支援コーディネーターを設置する。

### 2. 研究開発事業

- ・地域の抱える技術課題に関して、機械金属、木工、電気・電子、化学の各々の切り口からアプローチし、農業・食品関連装置開発、冷熱エネルギー活用研究、未利用木材の活用検討等新規事業化を見据えた自主研究開発事業を行う。
- ・これらテーマをもとに、地域企業、研究機関等と連携した公募型助成事業等への応募を行うなど、外部資金による、迅速かつ効率的な研究開発の推進を目指す。
- ・成果発表会等で成果の普及に努める。

### 3. 企業の技術・製品開発支援事業

#### (1) 企業の研究開発・事業化支援

- ・新製品、新技術の開発や事業化に取り組む企業等に対し、継続的に技術的な支援を行う。特に機械金属分野や、地域資源に関連した食分野（酪農装置、食品加工装置等）、環境エネルギー分野（未利用資源活用技術等）、IT分野（採炭保安機器等）や木工分野（未利用木材活用等）について重点的な支援を行う。

## **(2) ビジネス交流会、商談会（販路開拓）への参加**

- ・ビジネス交流会、商談会へ地域企業と共に参加し、新技術・新製品・新商品に関する情報発信を行うと共に、道内外の最新技術情報等を収集する。

## **4. 人材育成事業**

- ・新しい知見や更なる技術力向上を目指し、技術者、専門家等を講師として招聘し、溶接、非破壊検査、CAD/CAM、IT関連、木材の利活用、木材加工等の技術等講習会および企業経営に関する講習会等を実施する。

## **5. 情報収集・提供事業**

### **(1) 企業訪問活動による情報収集**

- ・釧路・根室管内市町村の自治体、団体等への訪問や、各種会議への参加を定期的に行うと共に、企業訪問を行う。企業の持つ技術や加工機械・設備等の情報を収集するとともに、企業の抱えるニーズ発掘に努め、技術相談案件・支援等の対応を強化する。

### **(2) 産業技術に関する資料等の情報の収集、整備と情報誌の発行**

- ・内外の各種展示会、セミナー等へ参加し、得られた最新技術情報や、地域に関する新聞報道を分野別に整理し、企業が閲覧できるように整備する。また、直近の掲載記事は掲示板に貼付を行う等、より有効な情報発信を行う。
- ・ホームページのユーザビリティを再検討し、各種セミナー・研修会等の情報や産業支援に関する情報等を効率良く発信する。
- ・釧路工業技術センターの活動等について情報誌を作成し、賛助会員企業及び関係機関に配布する。

## **6. 異業種交流・産学官連携事業**

### **(1) 産学共同研究の促進**

- ・釧路工業高等専門学校等の地元高等教育機関と連携し、地域企業の持つ技術力を生かした、産学共同研究による製品開発等に取り組む。

### **(2) 異業種交流(研究会・協議会等)団体等への支援**

- ・異業種交流団体等企業グループの活動に参加し、その活動を技術的な側面から支援する。
- ・自然エネルギー活用研究、地場産業へのIT活用化研究、酪農機械設備研究等事業化を目指し、具体的なテーマでの研究会を支援する。

### **(3) 試験研究機関、産業支援機関のネットワーク構築**

- ・釧路工業高等専門学校との研究交流会を継続する。
- ・道総研釧路水産試験場、根釧農業試験場等地域の試験研究機関との連絡を緊密にし、取組状況等について情報交換を行なうとともに企業支援等への協力体制を整える。
- ・ノーステック財団などの産業支援機関により構成されるネットワークに参加・協力し、企業ニーズに対応出来る各種事業と情報収集を行う。

### **(4) 隣接地域との地域間連携の構築**

- ・釧路・根室圏に隣接するオホーツク圏および十勝圏の産業支援機関、並びに全道レベルの地域間連携に参画し、相互地域にメリットのある活動を視野に、広域的なネットワークを構築し、地域企業へのより拡幅な支援を目指し取り組む。

## **7. 釧路工業技術センター施設管理運営**

- ・釧路工業技術センターの施設について、地域の企業ニーズに対応しつつ、適切な管理運営に努める。
- ・利用者に対し、インターネットが使用出来る環境を提供する。

## 8. その他

- ・新公益法人制度への移行作業を推進する。

## B 地域産業支援事業特別会計

### <基本方針>

次のことを重点に取組みを進める。

- ・釧路・根室管内市町村への訪問を強化し、地域のニーズや素材を元にしたビジネス化のアイデアを掘り起こし、地域企業や地域のクラスター研究会等が発案した取り組みについて、地域や道内の高等教育機関（高専、大学等）が有する知的資源、地域企業が持つ産業力を活用しながら、開発、事業化及び販路開拓等を幅広く、総合的な支援を行う。

### ■産学官連携型クラスター整備事業（北海道・ノーステック財団補助事業、釧路市委託事業）

#### 1. 地域産業プロデューサーの設置

- ・地域の企業ニーズ、高専・大学等のシーズに関する調査を行い、プロジェクト事業化に対する開発、支援を推進する地域産業プロデューサーを設置する。

#### 2. ニーズ調査・シーズ発掘事業

- ・地域が有するビジネスニーズやシーズについて、情報収集するとともに、産業創出に向けたプロジェクトの発掘・提案を行なう。また、根室方面の情報収集等は根室支庁地域コーディネーターとも連携して行う。

#### 3. プロジェクト事業化支援事業

- ・産業創出に向けたプロジェクトにおいて、産学官連携・産業間連携の推進や特許調査、委託研究、簡易試作等を実施する等、集中的支援を行う。
- ・地域における創業や経営革新等への支援を行う。

#### 4. 相談・情報ネットワーク強化事業

- ・アドバイザー、地元熟練技術者派遣等により技術・経営相談を強化するとともに、地域の産業支援機関との連携強化を図る。